

サンワ・リノテックがお届けするお得な記事満載の情報紙。
きっとお役に立ちます。

ユーザー様訪問



KITレーディング有限会社 様

KITレーディング(有)の概要

設立 1986年(昭和61年)
年商 2億5千万円(2008年度)
従業員数 3名
事業内容 貿易業

KITレーディング有限会社
代表取締役 伊藤 啓輔 様

今号はグローブバックの販売にあたっての提携先、KITレーディング(有)の伊藤社長にお話を伺いました。

この取材だけのためにわざわざ、福岡から来阪していただき、グローブバックに対する思い入れと将来に対する展望を熱く語っていただきました。

KITレーディング社さんの主な活動を 教えていただけませんか。

当社は貿易会社です。輸入代行業をメインとして、食品および日用雑貨品等の輸入販売を業務としております。お客様から注文を受けると、契約後海外にある提携先の工場にてOEM生産し、それを輸入して依頼先に一括販売するという貿易業務を創業以来してきました。

ところが2004年、注文を受けたアスベスト処理袋を海外工場にて製造輸入するようになったものの、相手主のお客様が契約数量を完売できないということで返品を受け、わが社にて販売処理しなければならない状況になってしまいました。通常の営業販売を行わないわが社にとっては初めての経験でした。同時期に別の依頼先からアスベスト用のグローブバックの製造輸入依頼を受け、自社にてデザインの開発からサンプル作成まで始めたのですが、米国グレーリング社(以下G社)の「グローブバック」に関する特許で中断されてしまいました。そこで特許の使用許可の交渉を先方と数回行いました。

結果、わが社が自社生産を止めるかわりに、G社のアペイルQTグローブバックの日本国内の販売権を与えるので引き受けないかという話になり、G社が輸出している14か国の中で、初のG社とは別資本の販売会社になっていたということです。そこで、現在は処理袋とグローブバックを一緒に販売していく体制を構築しているところです。

すでに数年の販売歴がおりなのに、 今回タイアップされたお考えとは?

それは、グローブバックの販売数量を倍増するためです。

2005年からG社と共同で展示会出展を中心に営業販売して参りましたが、この業界での販売体制がまだ確立されていないのが正直なところです。折角の良い製品の普及を広めようとしても、従来の流通網にうまく乗り切れずになかなか当社の考え方を理解してもらえませんでした。

現場従事者はアスベストから隔離されて作業ができるのでこ

れほど安全なことではない。しかも施工費のトータルコストも大幅にコストダウンができるので、施工会社としては最近の価格競争に対抗する一助になる(G社の試算によると、在来工法よりも価格を4~6割下げることが可能と発表しています。)

作業環境を安全に且つ簡単で効率的に確保できる。そんなすばらしいグローブバック製品を安定的に供給して、最前線で頑張っておられるエンドユーザーにもっともっと提供したいと思っても、わが社の販売能力だけではなかなか市場に認知してもらえませんでした。現在は月平均で180~200ケースのグローブバックを販売しておりますが、これを毎月400ケース以上は販売したいと思っております。

そんな時にお会いしたのが、サンワ・リノテックさんです。当社にない販売網と、アスベストに対する豊富なノウハウ。なによりエンドユーザーさんに対する共通の考え方がタイアップするきっかけになったと思っています。サンワ・リノテックさんには、拡販の起爆剤として本当に期待しております。

業界の人々に理解されるためには、 今後どのような展開をお考えでしょうか?

現在の実際問題として「グローブバック」の名前は知られていても、製品そのものがどういうもので、どういう使い方をするのか等々の認知度がまだ低いことも事実です。当社がグローブバック販売に参入した2005年、すでにグローブバックは関係省庁の書類上に、その名前が記載されていてレベル2での工法も認められていました。それなのにわずかな一部の専門家以外は実際のグローブバックを知らないといった不思議な現象があったのです。そこで正しい使い方をメインテーマに、東京、名古屋、大阪を中心に講習会の企画を立ち上げて、米国本土からグローブバックによるアスベスト除去の専門家を派遣してもらうことによって、この業界の関係者の皆様に沢山集まってもらえるのではないかと考えた訳です。そのためにアメリカ領事館やG社に働きかけて優秀な技術者を派遣してもらい、講習の修了者には認定書を発行するなどして、バックアップを計りたいと企画しています。その交渉はすでに始めており、予定では今年のASBEX展示会(10月開催予定)の前後を計画しております。このような新しいカタチでのセミナー開催をぜひ実現したいものです。

従来は展示会を中心にして、グローブバックの営業販売促進を行ってまいりましたが、今後は前記の様な講習会をエンドユーザーや業界関係者を中心に少人数制で、中身の濃いセミナーを開催して新たな販売促進を行っていきたく思っております。

研究熱心な会社は、現在でもアスベスト除去方法の講習を受けるため、ロサンゼルスにあるアスベスト除去に関する教習所へ日本から毎年100から200名程を派遣して受講されているように聞いております。その渡航費用や滞在費だけでも大変な経費がかかっており、一般の会社では受講したくても無理な話です。国
(裏面に続く)

(表面より)

内でも実践的なセミナーは今後必要だと思っております。

かなり前向きな姿勢ですが、 そのお考えはどこから?

KITレーディングはG社のアベイルグローブバッグ製品2,000ケース以上を福岡に在庫して、お客様のニーズに合わせて1ケースから日本全国に常時発送できる体制をとっております。このため米国でアスベスト除去実績のあるG社のグローブバッグが必要な時にいつでも簡単に購入できます。何度も言うように、工事作業者がアスベストから隔離されて除去できる安全性とコスト削減ができるグローブバッグが日本にあるという安心感をエンドユーザーの皆様にご認知いただき、お役に立てるように頑張っております。それが当社の方針だし、使命だと思っております。

そのために企画中のセミナーの開催時には、現場サイドの方々にご大勢来ていただいて議論できたらありがたいです。その時は、グローブバッグの使用感や改良点など生の声を聞かせていただきたいものですね。他にも、ああして欲しいとかのご意見があれば、サンワ・リノテックさんの方まで、お知らせください。できる範囲で取り上げさせていただきますと思います。

業界の動向から

現役ライターからの寄稿

佐渡のアスベスト 暴露事故のまとめ。

アスベスト除去中に児童や教職員が粉じんにご暴露した佐渡市両津小学校。これを受けて設置された同小学校アスベスト健康対策等専門委員会は、事故の原因を解明するため、社会面や技術面から事故を分析し、再発防止に関する提言をとりまとめた。

同事故を社会面から見ると、市民、行政、企業など地域コミュニティを構成する関係者の間で、アスベストの健康リスクについて十分な情報共有ができていなかったことを危険因子と見なした。また技術的な面から見ると、作業員の経験不足により区画養生テープが適切に貼られていなかったことを事故の有力な原因としている。

これらの分析を踏まえ同委員会は、アスベストの専門家を養成することや環境面で市民との情報共有を推進することなどを自治体の課題として位置付けた。さらに提言では、アスベスト対策工事の発注について、(仮称)アスベスト等有害物質対策工事のような発注工事種を追加することをはじめ、アスベスト対策のようにリスクの大きい公共工事に適した入札方式の検討、工事実績に重点を置いた業者選定なども課題として盛り込んでいる。

発行

作業現場の快適のために—
レンタル、販売から工事施工まで

Sanwa Renotech

サンワ・リノテック株式会社
www.sanwa-renotech.com

アスベスト サンワ で検索できます

〒551-0033 大阪市大正区北恩加島1丁目17番4号
TEL06(6551)0024 FAX06(6554)1057
東京営業所 〒170-0004 東京都豊島区北大塚3-5-18-401
TEL03(6411)0308 FAX03(6411)0309

(09.04.25T)

ハウ リツ

意外とアクティブな(!?)の世界

こんにちは。前回の瓦版から記事を書かせていただいています、ライト最例ハウスの島田です。前回の記事を見直すと、ちょっと文章が堅かったかも…?? というわけで、今回からはサンワさんのマスコットキャラ「りのべえ〜」(以下「り」)との対話方式にしちゃいます。そして、法律の世界をもっともっと身近に感じていただければ、と思います。

島「りのべえ〜、法律って意外とアクティブな世界なんだよ!」

り「えっ? アクティブってどういうことなん?」

島「新しい法律が次々できたり、今ある法律が
どんどん変わったり(=改正)するの。」

り「へえ〜、そんなにコロコロ変わるもんなんか…
知らなかったなあ。」

島「前に取り上げた『石綿救済法』だって、平成18年
に新しくできてから、もう3回も改正されてるって、知ってた?」

り「そんな全然知らなかったわ! そやかて新聞にも載ってないし、
ニュースでも言わへんやん。」

島「そうそう、法律は『官報』(=官公庁の新聞のようなもの)に
載った時点で、国民に伝えたこと(=知っていて当然!)になっ
ちゃうの。」

り「はあ〜! 官報なんて普通の人が読むわけないやん! 新聞に
でも載ったら読むかしらんけどなあ。」

島「だよな。だから知らない内に法律が変わってて、そのせいで
突然警察に捕まったり、行政指導が入ったり、なんてことも十分
有り得る話なんだ。」

り「まじかあ〜!? そんなとないしたらええねん!」

島「まあ今はネットでもある程度の情報は取れるけど、情報が全
部流れているとは限らないしね。だから一番確実なのは『六法』
を読めるようになることかな。」

り「六法!? そんなん弁護士や専門家の人にしか読まれへん
んとちゃうんかあ!?!」

島「それじゃあ法律の意味がないじゃない(笑)! 慣れればどう
てことないって。良かったら教えてあげるよ〜。でもそれは、また
今度ね!」

(つづく)

島田 恵理(ライト最例ハウス所属)

編集後記

今回のインタビューは、当社の提携先でもある伊藤社長にお願いしました。業界に貢献するという共通認識のもとに両社が手を携えてきた結果、おかげさまで取扱量も増えてきました。

事後報告ですが、米国のアトランタで開かれたレンタル協会の機械展示会の視察ついでに、グレーリングの本社を表敬訪問してきました。米国ではアスベスト除去工事はEPA(環境保護庁)-OSHA(労働省)の規則に準じた工法を習得して資格を持った者しかできません。その5日間の講習中に、グローブバッグの説明と実習が半日組み込まれてること。その講習の簡易版を米国商務省の後援で開催できるように提案してきました。実施が決まりましたら、この瓦版でご案内しますので、お楽しみください。

緊急告知 アスベスト除去工事に、全面体のファン式電動マスクの着用が義務付けられる!!

創刊号で触れてました全面体のファン式マスクの使用が法律(石綿障害予防規則 平成20年12月厚生労働省)の改正により、4月1日から義務化となりました。BL-700Hの確保を急いでおりますが、今後ご迷惑をおかけするかもわかりません。詳細は、当社営業へお問い合わせください。